令和７年度

史跡　午王山遺跡保存活用計画　　点検管理表（総括表）

分類	点検項目	点検内容	令和６年度自己点検結果
保存	○史跡の維持管理	史跡内は第６章の地区区分と取扱方針に沿って適切に維持管理されているか	このまま継続
	○追加指定と公有化	史跡の追加指定、公有地化は適切に推進されているか	
	○遺構・遺物の保存・管理	遺構・遺物は適切に保護されているか	
	○調査・研究の継続	午王山遺跡に関する調査・研究が継続して行われているか	
活用	○生涯学習の場での活用	生涯学習の場として活用されているか (講座やフィールドワークの開催など)	このまま継続
	○学校教育の場との連携	学校教育の場で活用しやすくする仕組みは適切か (活用しやすくするための工夫など)	
	○遺物の活用	展示するなど、遺物は活用できているか	
	○情報発信	情報発信は適切に行われているか	
	○周辺文化財と連携した活用	周辺文化財と連携した活用はできているか	
整備	○整備基本計画等の策定	基本整備計画等は策定されているか	このまま継続
	○整備の方法	整備は史跡の保護を前提として行われているか	
	○自然環境・景観への配慮	整備は自然環境や景観に配慮して行われているか	
	○ガイダンス施設の設置	ガイダンス施設は設置されているか	
	○段階的な整備	整備は住民生活に配慮して段階的に行われているか	
	○短期的な整備	ARやVRなどITを導入して短期的な整備を行っているか	
	○案内看板等の整備	案内看板等は適切に整備されているか	
	○見学環境の整備	見学環境は整備されているか	
運営・体制の整備	○保存・活用に関する管理体制	保存・活用の体制は適切か	このまま継続
	○国・県・市関連部局の連携	国・県・市関連部局と連携が図られているか	
	○様々な機関等との連携	学校や研究機関、研究者や周辺自治体など、様々な機関と連携が図られているか	
	○市民との連携・協働	市民の理解と協力を得て、午王山遺跡を支えていける体制ができているか	

分類１　保存

取組内容・状況

（１）史跡の維持管理

史跡地内管理地について朝霞地区シルバー人材センターに委託（年4回）するなどし、適宜除草・防草を行った。

（２）追加指定と公有地化

【公有地化】
新たに約911.93㎡の史跡指定地を公有地化した。

（３）遺構・遺物の保存・管理

出土遺物は適切に保存・管理している。

（４）調査・研究の継続

令和４～６年度にかけて実施した保存目的調査について報告書を作成した。報告書の作成については「午王山遺跡調査指導委員会」の指導・助言を受けながら行った。

参考数値

取組内容	目標値	現状値（計画策定時）	実績値（累計）				
			令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
指定地面積	約26,000㎡	15765.60㎡	18030.01㎡	18092.30㎡	18601.53㎡	18601.53㎡	
公有地化面積	約26,000㎡	4255.7㎡	4779.47㎡	5861.89㎡	6823.19㎡	7753.12㎡	

評価

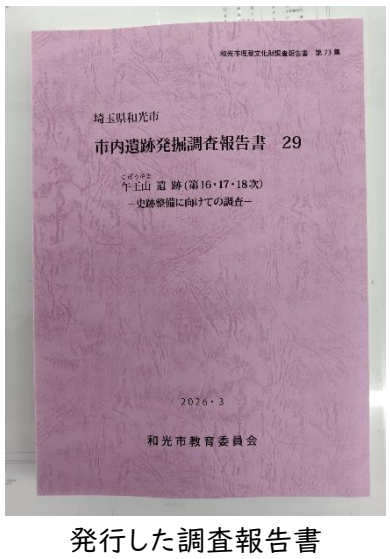
生涯学習課による評価（自己評価）

このまま継続して午王山遺跡の保存・活用を行う。

文化財保護委員会による意見等



午王山遺跡除草作業の様子



発行した調査報告書

分類２　活用

取組内容・状況

（１）生涯学習の場での活用

国史跡午王山遺跡で実施している保存を目的とした発掘調査の現場を公開したほか、おとどけ講座等で午王山遺跡について周知した。
■午王山遺跡を内容に含む講座等の実施数：３回
■のべ参加者数：136人

（２）学校教育の場との連携

南部地区小・中学校５年経験者研修の一環で、社会科教員に対し「生涯学習（社会教育）・文化財担当と学校連携について」と題したお届け講座を実施し、文化財について授業での利用方法等についてお知らせした。

（３）遺物の活用

出土遺物の一部を市役所4階の展示ケースで展示した。

（４）情報発信

・「午王山遺跡だより」を発行した。
　発行回数：１回（令７年１２月２２日）

（５）周辺文化財と連携した活用

午王山遺跡を対象としたフィールドワーク等の実施は行うことができなかった。

参考数値

取組内容	実績値（単年度）				
	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
講座等の参加者数（人） ※午王山遺跡についての内容を含むもののみ	68	296	131	136	
「午王山遺跡だより」の発行号数（部）	3	3	3	1	

評価

生涯学習課による評価（自己評価）

このまま継続して午王山遺跡の保存・活用を行う。

文化財保護委員会による意見等



社会科教員向け研修の様子（令和7年8月6日）



おとどけ講座の様子（令和7年11月19日）

分類３　整備

取組内容・状況	
	（１）整備基本計画等の策定
	整備基本計画の策定に向け、午王山遺跡保存整備検討委員会を設置し、課題整理等を開始した。
	（２）整備の方法
	本格的な整備は整備基本計画を策定した後に行う。 暫定的な整備（案内看板の設置等）については、史跡の保護を前提に行っている。
	（３）自然環境・景観への配慮
	本格的な整備は整備基本計画を策定した後に行う。
	（４）ガイダンス施設の設置
	ガイダンス施設の設置に向けて用地の確保等について引き続き調整する。
	（５）段階的な整備
	本格的な整備は整備基本計画を策定した後に行う。 整備までの間、防草シートの敷設等は適宜実施する。
	（６）短期的な整備
	ARやVRを導入する整備は実施に至っていない。
	（７）案内看板等の整備
	これまでに設置した看板の維持等に努めた。
	（８）見学環境の整備
	公有地化した土地の一部について、試験的に防草人工芝等を敷設している。

参考数値	取組内容	実績値（累計）				
		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
	案内看板等の設置数	3	3	3	4	

評価	
	生涯学習課による評価（自己評価）
	このまま継続して午王山遺跡の保存・活用を行う。
	文化財保護委員会による意見等



公有地への案内看板の設置（既存）



公有地への案内看板の設置（新設）

分類４　運営・体制の整備

取組内容・状況

（１）保存・活用に関する管理体制

令和４年度に設置した「午王山遺跡調査指導委員会」から午王山遺跡の保存目的調査等について指導・助言を得た。令和７年度は同委員会をベースに「午王山遺跡保存整備検討委員会」を設置し、考古学・造園学・地盤工学の専門的見地から調査・保存・整備に関する指導・助言を得る体制を構築した。

（２）国・県・市関連部局の連携

「午王山遺跡調査指導委員会」及び「午王山遺跡保存整備検討委員会」にオブザーバーとして文化庁、埼玉県から参加いただいているほか、適宜連絡・相談を行った。

（３）様々な機関等との連携

日本大学学生を中心として市内で開催された子ども向けイベント「ごぼうやま×デジタルワークショップ」に協力した。また、愛知県小牧市で開催された第60回全国史跡整備市町村協議会大会に参加し、整備事例の情報収集等を行った。

（４）市民との連携・協働

市民との連携・協働については今後の課題である。

参考数値

取組内容	実績値（単年度）				
	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
午王山遺跡調査指導委員会の開催	3	3	3	3	
午王山遺跡保存整備検討委員会の開催				1	

評価

生涯学習課による評価（自己評価）

このまま継続して午王山遺跡の保存・活用を行う。

文化財保護委員会による意見等



日本大学学生によるワークショップの様子（令和7年4月19日）



保存整備検討委員会の様子（令和8年2月17日）